

葛西第一地区だより

第72号
発行
青少年育成葛西
第一地区委員会
編集
研 究 部

事務局
葛西事務所
地域サービス係内
中葛西3-10-1
TEL.(3688) 0434(直)

第23回 スーパードッジボール大会が6月16日(日)江戸川区スポーツセンターで開催されました。

今年は昨年を上回る39チーム389人が参加、日ごろの練習の成果を発揮しようと会場は朝から多く

子どもたちと保護者で賑わいました。

来賓として葛西北区の小学校校長先生も参加される

中行われた開会式では、小学生ボラ

ンティアの堀田 硯士郎さん(第三葛西小学校)が司会を務める中、ドラゴンズ

の柚木原 到真さん(第三葛西小学校)が力強く選手宣誓を行いました。

その後競技は低学年、中学年、高学年に分かれ1試合7分間で行われました。

各チームが独自のユニフォームやお揃いのTシャツを身に



勝ったチームも残念ながら負けてしまったチームも皆楽しそうにコートを後にしていた姿がとても印象的な大会となりました。

来年に向けてさらに盛り上

審判としてご協力いただき、スムーズな大会運営を行うことができました。

また、目まぐるしく攻守が交代する中、全員で声を出し力を合わせ、チームワークよく競技を楽しんでいました。運営ボランティアとしては葛西工科高校や共育プラザ葛西、葛西北区小学校PTA連合協議会の方々に加えて、今年も参加チームの保護者に

る大会となるよう地区委員会一同取り組んで参ります。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

なお大会の結果は左表の通りとなります。

スーパードッジボール大会結果

参加者…389人(39チーム)
低学年…131人(13チーム) 中学年…156人(16チーム) 高学年…102人(10チーム)

	優勝	準優勝	3位
低学年の部	Gタイガー 船堀小学校・船堀第二小学校・ 第六葛西小学校・その他	ドラゴンファイターズ 第五葛西小学校・ 宇喜田小学校	6小最強ファイター2 第六葛西小学校
中学年の部	ビッグバン 西葛西小学校	2-2 やまたーにーず 船堀小学校	トゥエルブスターズ 西葛西小学校
高学年の部	HEROES 西葛西小学校	サンダーナイン 西葛西小学校	ドラゴンズ 第三葛西小学校

役員紹介

委員長	杉浦 修	区子連葛西支部
副委員長	川嶋 慶男	船堀地区自治連絡協議会
副委員長	妻田 辰雄	宇喜田・小島地区自治連絡協議会
副委員長	三浦 春美	区子連葛西支部
副委員長	松本 勝行	地区委員会推薦
副委員長	江原 勝雄	コンドミニアム葛西自治会
書記	佐藤 真	宇喜田新町自治会
書記	大澤 登孝	葛西第四地区民生・児童委員協議会
会計	荻島 景子	宇喜田七軒自治会
監査	田中 努之	船堀七丁目町会
監査	山本 将之	地区委員会推薦
部長	岡本 拓	地区委員会推薦
部長	塙 正彦	宇喜田新町自治会
部長	永谷 博司	地区委員会推薦
部長	中里 泰子	スポーツ推進委員
員	鈴木 和子	青少年委員
員	善茂作 美智子	葛西第一地区民生・児童委員協議会
員	荒川 常代	葛西第三地区民生・児童委員協議会
員	森田 聖悟	保護司会 葛西分区
員	中山 直樹	葛西北区小学校長会
員	茅原 拓平	葛西地区中学校長会
員	小山 森康	葛西少年野球連盟北支部
員	梅木 裕司	葛西少年野球連盟北支部
顧問	島矢 謹爾	葛西少年野球連盟西支部
顧問・相談役	伊藤 文夫	船堀地区自治連絡協議会
		宇喜田・小島地区自治連絡協議会

スポーツ推進委員 活動予定

水仙・梅見ウォーク
令和7年 1/12日・1/19日・1/26日・
2/9日・2/16日・2/23日

他に江戸川区主催事業、地域諸団体主催事業に参加協力し活動しています。

ウの散逸、従前の参加が当然という意識からそもそもそのイベントが必要なのかという慣例への疑義による参加意識の変化、酷暑によるイベント制限という環境的な面からの変化が促されている」という報告がありました。

また、学校関係者からは、「コロナ禍にあった生徒間・児童間、生徒・児童と教員とのコミュニケーション不全が生じた影響が残っている。他方で、不登校児童・生徒との関わりにおいて発見があり、現在の共育プラザへのみなし登校、別室・

短時間登校という運用に繋がっている」との報告がありました。

②については、主として青少年と直接関わる関係者から報告があり、「デジタル機器が生活の中心となり、青少年の生活に入り込んでいる。もちろんデジタル機器は生活を便利にするものであるが、デメリットを上げると、前述の不登校の要因となっているという面がある。」「動画サイト閲覧、SNS等通信系アプリによる過剰なやりとりが昼夜逆転に拍車をかけるというものである。また、テキストのみのやりとりによる児童・生徒間のトラブルも散見される。」「デジタルツールの普及により盗撮・拡散からの保護という観点からの活動を制限せざるを得ない」との報告がありました。

意見の概要

これらの報告を受けて、地域の担い手不足などコロナ禍による制限によって奇しくも顕在化した変化にどのように折り合いをつけていくのかということや、青少年と地域との関係の構築や、各会・組織のありようについて模索する必要があるとの意見・感想がありました。

このように、参加者からは、上記テーマに沿った活発な意見交換がなされました。

青少年育成葛西第一地区委員会研修部としては、青少年の変化を捉え、有益なテーマで活発な意見交換を促すことで、青少年の健全育成に寄与してゆきます。

安全・安心な地域を目指して

令和6年9月25日(水)に青少年育成葛西第一地区委員会研修部主催で、第31回地域諸団体代表者情報交換会を開催しました。

本年度のテーマは、子どもたちの活動の変化を引き続き共有する必要性があるとして、昨年度に引き続いて「安全安心な地域を目指して」として、重点的に共有すべきテーマとして、時世を踏まえて、①コロナ禍前後における各団体の活動や取り組みの変化、②デジタル機器の普及に伴う、子どもの生活様式の変化とし、次の講演、報告等がありました。

講演の概要

葛西警察署生活安全課少年第一係長佐藤様より、このテーマに関係した講演がなされ、①については、警察関係のイベントはコロナ以前に戻って盛況を取り戻している状況である、②については、正しく使えば便利なスマートフォンが残念ながら犯罪ツールや犯罪のきっかけになり、使用者が加害者にも被害者にもなってしまうことがある。青少年の検挙補導件数が近年の減少傾向から令和5年には増加に転じている(葛西警察署管内は

報告の概要

次に、出席者からの報告がなされ、①については、「コロナ禍以前のように復活しているわけではない。その原因として、イベントの中断によるノウハ

盗難自転車なくし隊 自転車盗ゼロ作戦に 中学生が大活躍!!

6月22日(土)午前8時、西葛西中学校校庭に、葛西、葛西第二、葛西第三、南葛西、南葛西第二、清新第一、清新第二、東葛西、西葛西中学校の生徒、付き添いの先生方と、葛西・葛西第一・葛西第二各地区委員会、葛西警察署の皆さんが集合しました。

始めに杉浦葛西第一地区委員長から、「各校の生徒・先生方のご協力をいただき、自転車盗の件数を少しでも減らしたい」とのお話がありました。

また、斉藤江戸川区長からは「葛西は交通の便の良い地域、区内でもベストスリーに入るのではないかな。自転車盗が少なくなれば今以上に素晴らしい住みやすい街になるのでは」とあいさつがあり、飯山葛西警察署長からは「治安が良くなければ、安心安全な街にはならない。葛西は自転車の盗難が多い街、小さい犯罪でも、見過ごしていると大

きな犯罪につながる」とのあいさつがありました。

開会式の最後に、宮本葛西第二地区委員長からの「暑いので、体に気をつけて」と参加者の体を気遣うあいさつを合図に、4班に分かれ、西葛西駅前での啓蒙活動、駅南口と北口の有料駐輪場、小島町二丁目団地内の駐輪場へと決められた場所に出発しました。

約1時間後に西葛西中学校校庭に再度集合、森澤葛西地区委員長から「今日の活動がきっかけとなり、少しでも自転車の盗難が減れば良いと思う。この素晴らしい活動は、来年も皆さんの後輩がきつと引き継いでくれるでしょう」と閉会のあいさつがありました。葛西さざなみ会の皆さんのご厚意で用意していただいたこ焼きを手に、解散しました。

鍵の掛かかっていない自転車の調査結果

	施錠有	施錠無	合計
西葛西駅南口有料駐輪場	498	58	556
北口有料駐輪場	610	64	674
二丁目団地駐輪場	711	49	760
合計	1,819	171	1,990

夜間パトロール

主催 青少年部

7月24日(水)と8月28日(水)に約1時間、第一地区管内(宇喜田・小島地区、船堀地区)をパトロールしました。

延べ16人の部員が、2コースに分かれ、公園を中心に見回りを行いました。いずれのコースも特に問題はありませんでした。が、これもパトロールをしている成果の一つでもあると思うので、今後継続していきたいと思っています。

ハイライク船堀 自治会

中川の畔に建つハイライク船堀は、五〇九戸の大規模マンションです。居住開始から今年で四四年を迎え船堀地区にすっかり溶け込んだ存在となりました。自治会は居住開始の翌年に居住者の親睦と福祉の増進を図り住みよい環境づくりと生活の向上を目的として発足しました。現在発足時の精神を継承し春には桜まつり、夏には盆踊りを中心とした夏まつり、冬には餅つき大会等を開催、会員相互の親睦を図るべく、多くの場を提供しています。又安全安心まちづくりにも積極的に取り組んでいます。年末年始の防犯パトロール、春・秋の交通安全週間中に於ける小学生の登下

校の交通指導、自転車盗難防止の駐輪場点検等です。その結果今年度の「環境をよくする運動中央大会」に於いて犯罪に強いまちづくりに貢献したとして表彰の栄誉に輝きました。社会環境の変化と共に自治会の活動も大きな変化を求められています。会員の高齢化による高齢者世帯や一人暮らし高齢者に対する対応です。今年度より「高齢者見守り支援委員会」を発足し、支援員による高齢者世帯への定期的訪問を行い声掛けと状況の把握に努めています。

自治会の大きな役割は有事の際に会員お互いが助け合い支えあう雰囲気や日頃の活動を通して醸成することだと思います。今後も役員一同知恵を絞って役割実現に向けて邁進するつもりです。

(ハイライク船堀自治会
会長 野崎 修)

学校紹介 宇喜田小学校

宇喜田小学校は、昭和58年4月1日、第三葛西小学校より独立、児童数657人

18学級で開校いたしました。当時としては珍しい広々とした正面玄関と大階段、そして、緑いっぱい「うきたの森」が、今も本校の自慢です。今年度在籍478人の子どもたちだけでなく、昨年、開校40周年を迎えました本校の348人も卒業生も「うきたの森」でたくさんさんの思い出を作っていました。この恵まれた環境の中で、学校目標であり「明るく元気な宇喜田の子」「心のやさしい宇喜田の子」「すすんで学ぶ宇喜田の子」の

親子で簡単！ 手作りクッキング

八月十八日(日)、葛西市民館講座講習室にて、青少年部主催の手作り簡単クッキングを開催しました。

今年は事前にレシピコンテストを行い、一位のレシピを採用し、考案者を講師としてお招きしました。

レシピ名は「二刀流タコス!! あなたはどちら派??」タコライスorタコスのボリウムサンドイッチ」といい、パンにはさんでもご飯に乗せてもおいしいというものです。今回は時間の都合上、ボリウムサンド

イチのみを作りました。午前の部・午後の部共に約六十人の親子に参加していただきました。講師のお母さんは、事前の準備が素晴らしく、パソコンを用いながらレシピのポイントを説明していました。説明が終わると、七班に分かれた参加者のみなさんは、サポート役が見守る中、事前に用意してある器具・食材を使って、説明通りに料理を作っていました。



きました。作業は班内で分担しながら、豚ひき肉を炒め、野菜やゆで卵を切り、具材と食パンを重ね、ラップで包み四分の一にカットして出来上がりです。

午後の部になると、講師の説明もさらに精度が良くなっていました。午前の部の検証も踏まえて準備していたようで、とてもかつこよかったです。

参加者の試食中にインタビューすると、「こうすると嫌いな野菜でも食べられる」と話していました。大変うれしい話が聞けて、スタッフも喜んでいました。

スポレク部・活動報告

例年6・7月に少年野球大会、8・9月に男女混合ソフトボール大会を開催しておりますが、今年度については、会場となる都立宇喜田公園スポーツ広場の改修工事があったため、開催を中止とさせていただきます。

次年度は通常通りの開催を予定しておりますので、よろしく願いたします。

編集一後記

今年度も皆様のご尽力によりたくさんの方の行事イベントが開催されています。子どもたちの笑顔はやっぱりいいものですね。(研修部O)